

単元名 そろばん

配当時間 1時間

単元の目標 (1) そろばんによる小数や大きな数の表し方，加法及び減法の計算の仕方を理解し，小数や大きな数の簡単な加法及び減法の計算ができる。  
 (2) 整数の加減を基に，小数の加減の計算の仕方を考えることができる。  
 (3) そろばんについて関心を持ち，進んで加減の計算に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

04040204\_001

【準備等】そろばん

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 そろばんを使って，小数や大きな数を表したり，加減計算をしたりする。[p. 136～p. 138]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ そろばんを使った数の表し方や計算のしかたを知ろう。</li> <li>○ 小数を入れて，はらう問題に取り組む。</li> <li>○ 小数のたし算とひき算に取り組む。</li> <li>○ 「練習問題」に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年で学習したそろばんの加減計算の仕方を想起させる。</li> <li>・ 定位点が小数点の役目をしていることに気付かせる。</li> <li>・ 小数のたし算やひき算も，整数と同じように左の桁から右の桁へ順に計算すればよいことに気付かせる。</li> <li>・ 位が大きくなっても，同じようにすればよいことを確認する。</li> <li>・ 位が大きくなっても，億や兆がそろっている場合は，その位を定位点までに入れば，簡単に計算できることを知らせておく。</li> <li>・ そろばんで積み算をするのは初めてなので，積み算のかき方のルールをしっかりと確認する。</li> <li>・ やり方を教え，それぞれの児童の実態に応じて取り組ませる。</li> <li>【評】そろばんを使った問題に取り組む活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・ 「そろばんとおつり」を紹介する。</li> <li>・ 「数のたんじょうとそろばん」を紹介する。</li> </ul>

## 【備 考】

第3学年では，そろばんについて，その仕組みに着目し，大きな数や小数の計算の仕方を考えることを学習してきた。

第4学年では，第3学年の理解の上に，そろばんの計算の仕組みについての理解を深めるようにする。整数については，億や兆の単位までの数を表すこと，小数については1/100の位までの数を表すことができるようにする。